

No.	5
策定年月	令和3年4月
見直し年月	令和3年7月
見直し年月	令和3年9月
見直し年月	令和4年3月
見直し年月	令和4年6月

麦・大豆生産性向上計画

都道府県名：北海道

1. 麦・大豆の生産性向上に向けた方針

(1) 麦・大豆の生産性向上・産地強化に向けた方針

北海道は、恵まれた土地資源を生かし、大規模で専門的な農家を主体とする水田農業が展開されている。

米の需要量が減少し続ける中、水稻作付面積を維持しながら、水田農業の持続的な発展を図っていくためには、需要に応じた米生産を積極的に進め、「売れる米づくり」に向けた取組を推進するとともに、転作作物として重要な位置づけである麦・大豆について、生産コストの低減や収量・品質の向上を図っていく必要がある。

このため、高齢化や担い手不足が進行する中、スマート農業技術の導入や団地化の推進により、低コストで省力的な農作業体系を確立するほか、実需者ニーズに対応した品種の選定、基本技術の励行と先進的な農業技術の導入、適切な収穫・乾燥・調製などにより収量性と品質の向上を図り、水田における麦・大豆の生産性の向上を推進する。

現在、北海道においては、水田収益力強化ビジョンにより水田における作物ごとの取組方針を定めているが、本計画において、関係者の連携強化により、麦・大豆の生産性の向上に向けた取組をより具体化し、水田農業の更なる活性化を図っていく。

(2) 道で推進する団地の基準

本道においては、「団地」とは、次の一以上の水田活用の直接支払交付金の交付対象水田に該当し、4ha以上であって、一連の農作業の継続に支障が生じない同一作物を栽培している2筆以上の隣接する農地とする。なお、交付対象水田の維持に必要な帯状防風林であって、農道等と接しているなど農作業機械が各ほ場間の往来に支障が無いものについては、連担性の判断に際して、これが無いものと取り扱うことができる。

① 畦畔で接続する2筆以上の交付対象水田

② 農道（農作業用の機械が往来に支障がない交通量であり、一連の農作業の継続に支障がない道道及び市町村道を含む）、水路等を挟んで隣接する2筆以上の交付対象水田

③ 各々一隅で接続する2筆以上の交付対象水田

④ 段状に接続する2筆以上の交付対象水田

⑤ 耕作地の宅地に接続している2筆以上の交付対象水田

⑥ 未耕作地又は空き地を挟んで隣接する2筆以上の交付対象水田（管理が一体的であって、農作業が一連の流れの中で実施可能な圃場の位置関係であるもの）

また、道で推進する団地規模（4ha以上）がなじまないと道が認める地域については、次のとおり。（該当する地域の麦・大豆産地生産性向上計画において定めている。）

○苦前町：中山間地域に属しており、また、沢地も多いことから、0.9haを団地化基準面積と定め、上記の条件を満たす0.9ha以上の農地を団地とする。

○愛別町：町内を流れる河川に農地が分断されていることから、団地化基準面積を3haと定め、上記の条件を満たす農地を団地とする。

2. 麦・大豆生産の現状と課題

(1) 需要に応じた生産の現状と課題

【小麦】

・本道の小麦は、日本めん用及びパン中華めん用それぞれで加工適性の優れた品種の開発が進むとともに、生産者と実需者が一体となった地産地消の取組の広がりなどから、パンやうどん、ラーメン、ぎょうざ等幅広い用途で使用されている。

近年、購入希望数量が販売予定数量を上回る状態が続いていたが、令和元年産から引き続き道産小麦の豊作、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外食産業等の需要減が2年連続してみられ、需給環境は不透明である。令和4年産民間流通麦の入札については、上場したすべての銘柄について不落札が発生。きたほなみ、ゆめちから、はるきりり、春よ恋、札育2号、キラリモチにおいて、販売予定数量が購入希望数量を上回っている一方、キタノカオリ、つるきち、ハルユタカにおいて、販売予定数量が購入希望数量を下回っている。主な実需者は、日清製粉、日本製粉、江別製粉、木田製粉、横山製粉などとなっている。

・このため、需要者ニーズに即した品種の選定やこれらの収量性と品質の向上を図り、需要に応じた高品質な小麦の安定生産を進めていく必要がある。

【大豆】

・本道の大豆は、中長期的に需要が増大している中、省力的な作物でもあることから、近年、作付面積が増加傾向にある。

・また、栽培されている品種については、煮豆や豆腐に利用される「とよまさり」銘柄を中心に、納豆用の「ユキシズカ」などが導入されているが、用途別のニーズに応じた品種の選定やこれらの収量性と品質の向上を図り、需要に応じた高品質な大豆の安定生産を進めていく必要がある。

(2) 生産における現状と課題

・近年、作付面積は小麦が横ばい、大豆が増加傾向となっているが、大豆についてもここ数年は横ばいとなっている。一方、生産量については、小麦・大豆とも天候の影響を受け変動が大きい。

・そのため、排水対策や適正輪作など基本技術の徹底を図るとともに、ほ場の排水や水稻との作業競合を回避する新技術を積極的に導入するなどして、安定生産と品質の確保をすることが課題となっている。

・また、高齢化や担い手不足などにより、経営規模の拡大が進んでいることから、スマート農業技術や作付けの団地化などを推進するなどして、低コストで省力的な農作業体系を確立していくことが課題となっている。

(3)実績

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)						単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成29年産		平成30年産		令和元年産(現状)		平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)
小麦	きたほなみ	(21,887)	87,837	(22,278)	88,675	(22,973)	89,387	540	431	603	474,583	382,189	538,995
	ゆめちから	(3,350)	13,444	(3,237)	12,884	(3,543)	13,786	467	370	512	62,783	47,671	70,584
	キタノカオリ	(517)	2,076	(381)	1,517	(342)	1,330	411	313	423	8,532	4,748	5,626
	つるきち	(89)	358	(66)	263	(60)	234	218	227	513	780	597	1,200
	春よ恋	(3,562)	14,294	(3,675)	14,627	(3,508)	13,649	340	195	359	48,600	28,523	49,000
	はるきらり	(535)	2,146	(588)	2,339	(578)	2,248	348	221	414	7,468	5,169	9,307
	ハルユタカ	(231)	928	(229)	911	(174)	678	363	183	419	3,369	1,667	2,841
	北見95号					(0)	1			829			8
	その他	(129)	517	(46)	184	(22)	87	287	291	151	1,484	535	131
小麦計		(30,300)	121,600	(30,500)	121,400	(31,200)	121,400	500	388	558	607,600	471,100	677,692
大麦	りょうふう	(45)	1,503	(35)	1,498	(2)	103	331	328	444	4,978	4,915	457
	札育2号	(7)	217	(4)	162	(30)	1,595	379	386	449	822	625	7,162
	その他					(0)	2			60	0	0	1
大麦計		(52)	1,720	(39)	1,660	(32)	1,700	337	334	448	5,800	5,540	7,620

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)						単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産		令和元年産		令和2年産(現状)		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
小麦	きたほなみ	(22,278)	88,675	(22,973)	89,387	(23,835)	89,270	431	603	548	382,189	538,995	489,200
	ゆめちから	(3,237)	12,884	(3,543)	13,786	(4,026)	15,080	370	512	494	47,671	70,584	74,495
	キタノカオリ	(381)	1,517	(342)	1,330	(232)	870	313	423	495	4,748	5,626	4,307
	つるきち	(66)	263	(60)	234	(38)	141	227	513	500	597	1,200	705
	春よ恋	(3,675)	14,627	(3,508)	13,649	(3,531)	13,223	195	359	357	28,523	49,000	47,206
	はるきらり	(588)	2,339	(578)	2,248	(703)	2,633	221	414	373	5,169	9,307	9,821
	ハルユタカ	(229)	911	(174)	678	(252)	945	183	419	388	1,667	2,841	3,667
	北見95号			(0)	1	(1)	4		829	641	0	8	26
	その他	(46)	184	(22)	87	(82)	34	291	151	139	535	131	474
小麦計		(30,500)	121,400	(31,200)	121,400	(32,700)	122,200	388	558	515	471,100	677,692	629,900
大麦	りょうふう	(35)	1,498	(2)	103	(2)	109	328	444	131	4,915	457	143
	札育2号	(4)	162	(30)	1,595	(25)	1,651	386	449	455	625	7,162	7,512
	その他				2		0		60		0	1	
大麦計		(39)	1,660	(32)	1,700	(26)	1,760	334	448	435	5,540	7,620	7,655

作物名	品 種 名	作付面積の推移						単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成29年産		平成30年産		令和元年産(現状)		平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)
大豆	ゆめのつる	(128)	278	(173)	368	(133)	283	204	184	179	567	678	507
	ツルムスメ	(125)	272	(119)	253	(74)	157	169	140	171	461	354	269
	トヨムスメ	(1,472)	3,194	(1,145)	2,430	(928)	1,972	220	170	208	7,014	4,135	4,092
	ユキホマレ	(8,548)	18,543	(7,650)	16,231	(6,802)	14,455	259	209	229	48,100	33,913	33,121
	ユキホマレR	(1,132)	2,456	(1,873)	3,975	(2,058)	4,373	289	262	249	7,094	10,415	10,910
	とよみづき	(1,536)	3,333	(1,692)	3,589	(1,822)	3,871	253	238	264	8,422	8,536	10,224
	とよまどか			(0)	1	(9)	20		300	240		3	48
	キタムスメ	(65)	141	(32)	67	(29)	62	232	212	258	327	142	160
	ハヤヒカリ	(216)	468	(209)	443	(162)	345	191	211	234	895	935	808
	ゆきぴりか	(53)	114	(61)	130	(62)	132	261	162	180	298	211	237
	スズマル	(526)	1,141	(377)	800	(178)	378	206	168	221	2,354	1,346	836
	スズマルR	(197)	427	(356)	756	(583)	1,239	204	157	209	873	1,186	2,595
	ユキシズカ	(2,502)	5,427	(2,510)	5,325	(2,815)	5,982	239	209	224	12,972	11,128	13,402
	音更大袖	(289)	628	(256)	543	(224)	475	250	215	198	1,567	1,170	942
	大袖の舞	(58)	125	(64)	135	(40)	85	259	161	221	324	217	188
	いわいくろ	(1,166)	2,529	(1,606)	3,407	(1,739)	3,696	219	161	196	5,550	5,478	7,248
	黒千石	(96)	208	(77)	164	(80)	171	170	135	153	354	222	261
	その他(不明)	(791)	1,716	(699)	1,483	(661)	1,404	194	150	182	3,328	2,231	2,552
作物計		(18,900)	41,000	(18,900)	40,100	(18,400)	39,100	245	205	226	100,500	82,300	88,400
		平成29年産		平成30年産		令和元年産(現状)		平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)
		作付面積の推移						単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		

作物名	品 種 名	作付面積の推移				単収の推移 (kg/10a)			生産量 (t)				
		平成30年産		令和元年産		令和2年産 (現状)		平成30年産	令和元年産	令和2年産 (現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産 (現状)
大豆	ゆめのつる	(173)	368	(133)	283	(140)	297	184	179	158	678	507	469
	ツルムスメ	(119)	253	(74)	157	(63)	134	140	171	160	354	269	215
	トヨムスメ	(1,145)	2,430	(928)	1,972	(1,128)	2,400	170	208	205	4,135	4,092	4,925
	ユキホマレ	(7,650)	16,231	(6,802)	14,455	(6,615)	14,075	209	229	246	33,913	33,121	34,632
	ユキホマレR	(1,873)	3,975	(2,058)	4,373	(2,444)	5,200	262	249	263	10,415	10,910	13,668
	とよみづき	(1,692)	3,589	(1,822)	3,871	(1,788)	3,804	238	264	236	8,536	10,224	8,961
	とよまどか	(0)	1	(9)	20	(111)	237	300	240	228.27	3	48	541
	キタムスメ	(32)	67	(29)	62	(18)	39	212	258	251	142	160	98
	ハヤヒカリ	(209)	443	(162)	345	(112)	239	211	234	246	935	808	588
	ゆきびりか	(61)	130	(62)	132	(52)	110	162	180	216	211	237	238
	スズマル	(377)	800	(178)	378	(124)	264	168	221	241	1,346	836	635
	スズマルR	(356)	756	(583)	1,239	(637)	1,356	157	209	232	1,186	2,595	3,146
	ユキシズカ	(2,510)	5,325	(2,815)	5,982	(3,176)	6,757	209	224	257	11,128	13,402	17,398
	音更大袖	(256)	543	(224)	475	(160)	341	215	198	201	1,170	942	684
大袖の舞	(64)	135	(40)	85	(33)	71	161	221	173	217	188	123	
いわいくろ	(1,606)	3,407	(1,739)	3,696	(1,330)	2,830	161	196	196	5,478	7,248	5,419	
黒千石	(77)	164	(80)	171	(61)	129	135	153	178	222	261	229	
その他 (不明)	(699)	1,483	(661)	1,404	(307)	617	150	182	167	2,231	2,552	1,031	
作物計		(18,900)	40,100	(18,400)	39,100	(18,300)	38,900	205	226	239	82,300	88,400	93,000
		平成30年産		令和元年産		令和2年産 (現状)		平成30年産	令和元年産	令和2年産 (現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産 (現状)
		作付面積の推移				単収の推移 (kg/10a)				生産量 (t)			

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

3. 課題解決に向けた取組方針・計画

(1) 取組方針

①需要に応じた生産と販売の実現

実需者ニーズが生産者の営農計画に着実に反映されていくよう、生産者団体と一体となって、技術講習会などを通じた、品種別・用途別の需給動向の情報提供に取り組んでいく。また、民間流通地方連絡協議会において、需給のミスマッチが生じている品種について、需要に見合った作付けの徹底に向けた産地への注意喚起を行う。

また、実需への安定した供給が図られるよう、基本技術の徹底や新技術の導入、病害虫への抵抗性や加工適性が優れた品種への転換など、安定生産と品質の確保に取り組んでいく。

さらに、小麦の豊凶変動による実需者への影響緩和や円滑な流通による安定供給を図るため、製粉会社や農業団体及び道が連携して、小麦の保管施設の設置を進める。

②団地化の推進

人・農地プランの取組と連携しながら、地域ごとの麦・大豆の団地化に向けた話し合いを推進する。土壌・排水条件・作業の効率化等に配慮した麦・大豆の団地化に向けた計画を各地域が作成できる環境を整備する。

③排水改良

ほ場の排水の改善に向けては、簡易明渠の設置やサブソイラーによる心土破砕など基本技術の徹底のほか、国営事業や道営事業、団体営事業を活用して、計画的な暗渠排水の設置・更新を進める。

また、普及すべき営農技術として、排水対策技術に次のものを位置づける。

＜転換畑での小麦に対するほ場内明渠を用いた排水促進・水分供給技術(平成23年普及推進事項)＞

(越冬前から春先にかけてのほ場内明渠の形成による排水促進技術と、生育後半に用水路からほ場内明渠へ通水することによる水分供給技術。)

④適期作業

・麦や大豆の適正な輪作による安定生産と品質の確保に向けて、輪作を構成する作物や水稻の適期作業を図るため、スマート農業技術を活用した高性能機械による省力化のほか、早晩性などを考慮した品種の選択、大豆間作小麦栽培などの技術を活用を進める。

また、普及すべき営農技術として、水稻との作業競合を回避する小麦の播種技術に次のものを位置づける。

＜転換畑における事前の整地を伴う不耕起播種による秋まき小麦栽培の特性(平成30年指導参考事項)＞

(播種前に耕起・整地を行うことで播種時の耕起を行わず、水稻収穫との作業競合を緩和する技術。)

※ ①需要に応じた生産と販売の実現、②団地化・連坦化の推進については必ず記載する。③以降は産地の実態に即して記載する。

(2)計画

① 生産量

作物名	品種名	平成25年産～令和元年産の7中5(現状)			令和9年産(目標)			備考
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	
小麦	きたほなみ	(22,798) 92,043	503.23	463,186	(22,500) 88,500	550	486,750	直近年の令和元年産が豊作による異常値のため、過去7年間(平成25年産～令和元年産)の実績値のうち最高及び最低を除いた5か年の平均値を現状値とする。
	ゆめちから	(2,953) 11,879	445.41	52,912	(3,500) 12,500	550	68,750	
	キタノカオリ	(464) 1,874	390.27	7,314	(600) 1,300	550	7,150	
	つるきち	(50) 197	280.19	552	(60) 500	550	2,750	
	春よ恋	(3,229) 13,007	332.10	43,196	(4,300) 14,700	350	51,450	
	はるきらり	(515) 2,078	363.72	7,557	(800) 1,900	350	6,650	
	ハルユタカ	(209) 846	313.14	2,648	(300) 400	350	1,400	
	北見95号	(0) 0	829.00	2	(200) 1,000	550	5,500	
	その他	(83) 337	360.11	1,213	(40) 200	550	1,100	
小麦計		(30,300) 122,260	473.24	578,578	(32,300) 121,000	522	631,500	
大麦	りょうふう	(37) 1,302	338.79	4,412	(0) 60	400	240	
	札育2号	(7) 362	440.62	1,597	(40) 1,640	400	6,560	
	その他	(2) 53	396.32	211	(0) 0	0	0	
大麦計		(46) 1,718	362.05	6,220	(40) 1,700	400	6,800	

作物名	品種名	平成26年産～令和2年産の7中5(現状)			令和10年産(目標)			備考
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	
小麦	きたほなみ	(22,828) 90,242	523	471,794	(22,500) 88,500	550	486,750	直近年の令和元年産が豊作による異常値のため、過去7年間(平成25年産～令和元年産)の実績値のうち最高及び最低を除いた5か年の平均値を現状値とする。
	ゆめちから	(3,380) 13,328	459	61,180	(3,500) 12,500	550	68,750	
	キタノカオリ	(438) 1,745	424	7,396	(600) 1,300	550	7,150	
	つるきち	(57) 224	376	843	(60) 500	550	2,750	
	春よ恋	(3,402) 13,439	340	45,692	(4,300) 14,700	350	51,450	
	はるきらり	(547) 2,155	367	7,904	(800) 1,900	414	7,866	
	ハルユタカ	(226) 897	338	3,035	(300) 400	350	1,400	
	北見95号	(0) 1	294	3	(200) 1,000	550	5,500	
	その他	(67) 270	270	727	(40) 200	550	1,100	
小麦計		(30,945) 122,300	489	598,573	(32,300) 121,000	523	632,716	
大麦	りょうふう	(37) 1,302	328	4,270	(0) 60	400	240	
	札育2号	(7) 362	257	930	(40) 1,640	400	6,560	
	その他	(2) 53	168	89	(0) 0	0	0	
大麦計		(46) 1,718	363	5,289	(40) 1,700	400	6,800	

作物名	品種名	平成25年産～令和元年産の7中5(現状)			令和8年産(目標)			備考		
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)			
大豆	ゆめのつる	(129)	269	181	488	(130)	280	250	700	直近年の令和元年産が豊作による異常値のため、過去7年間(平成25年産～令和元年産)の実績値のうち最高及び最低を除いた5か年の平均値を現状値とする。
	ツルムスメ	(113)	231	213	493	(70)	130	250	325	
	トヨムスメ	(1,541)	3,165	210	6,656	(1,000)	2,200	250	5,500	
	ユキホマレ	(7,227)	14,992	239	35,877	(5,700)	12,000	250	30,000	
	ユキホマレR	(1,149)	2,419	260	6,302	(4,000)	9,000	250	22,500	
	とよみづき	(1,138)	2,399	247	5,914	(1,500)	3,000	250	7,500	
	とよまどか	(2)	4	243	10	(500)	1,000	250	2,500	
	キタムスメ	(97)	197	248	488	(0)	0	0	0	
	ハヤヒカリ	(157)	327	221	723	(110)	220	250	550	
	ゆきぴりか	(61)	125	196	245	(20)	40	250	100	
	スズマル	(655)	1,328	211	2,806	(20)	40	250	100	
	スズマルR	(190)	404	191	772	(800)	1,550	250	3,875	
	ユキシズカ	(2,511)	5,212	231	12,039	(3,200)	6,700	250	16,750	
	音更大袖	(258)	533	228	1,213	(170)	320	250	800	
	大袖の舞	(57)	117	197	231	(50)	100	250	250	
	いわいくろ	(1,295)	2,687	186	5,000	(1,300)	2,700	250	6,750	
	黒千石	(64)	134	156	208	(70)	160	250	400	
	その他	(899)	1,838	187	3,455	(260)	560	250	1,400	
作物計		(17,540)	36,380	228	82,920	(18,900)	40,000	250	100,000	
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)			
平成25年産～令和元年産の7中5(現状)					令和8年産(目標)					

8

作物名	品種名	平成26年産～令和2年産の7中5(現状)			令和9年産(目標)			備考		
		面積(ha)		単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)			単収(kg/10a)	生産量(t)
大豆	ゆめのつる	(133)	281	182	513	(130)	280	250	700	直近年の令和2年産が豊作による異常値のため、過去7年間(平成26年産～令和2年産)の実績値のうち最高及び最低を除いた5か年の平均値を現状値とする。
	ツルムスメ	(99)	210	208	436	(70)	130	250	325	
	トヨムスメ	(1,478)	3,132	204	6,389	(1,000)	2,200	250	5,500	
	ユキホマレ	(7,443)	15,848	244	38,695	(5,700)	12,000	250	30,000	
	ユキホマレR	(1,417)	3,020	259	7,832	(4,000)	9,000	250	22,500	
	とよみづき	(1,388)	2,965	252	7,468	(1,500)	3,000	250	7,500	
	とよまどか	(111)	237	229	542	(500)	1,000	250	2,500	
	キタムスメ	(78)	166	279	463	(0)	0	0	0	
	ハヤヒカリ	(156)	333	234	779	(110)	220	250	550	
	ゆきぴりか	(57)	122	217	264	(20)	40	250	100	
	スズマル	(503)	1,061	234	2,485	(20)	40	250	100	
	スズマルR	(286)	610	179	1,095	(800)	1,550	250	3,875	
	ユキシズカ	(2,742)	5,826	226	13,144	(3,200)	6,700	250	16,750	
	音更大袖	(245)	520	237	1,230	(170)	320	250	800	
	大袖の舞	(50)	105	222	233	(50)	100	250	250	
	いわいくろ	(1,242)	2,642	207	5,463	(1,300)	2,700	250	6,750	
	黒千石	(71)	151	171	259	(70)	160	250	400	
その他	(768)	1,577	198	3,126	(260)	560	250	1,400		
作物計		(16,731)	38,806	233	90,416	(18,900)	40,000	250	100,000	
		面積(ha)		単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)		単収(kg/10a)	生産量(t)	
		平成26年産～令和2年産の7中5(現状)			令和9年産(目標)					

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。

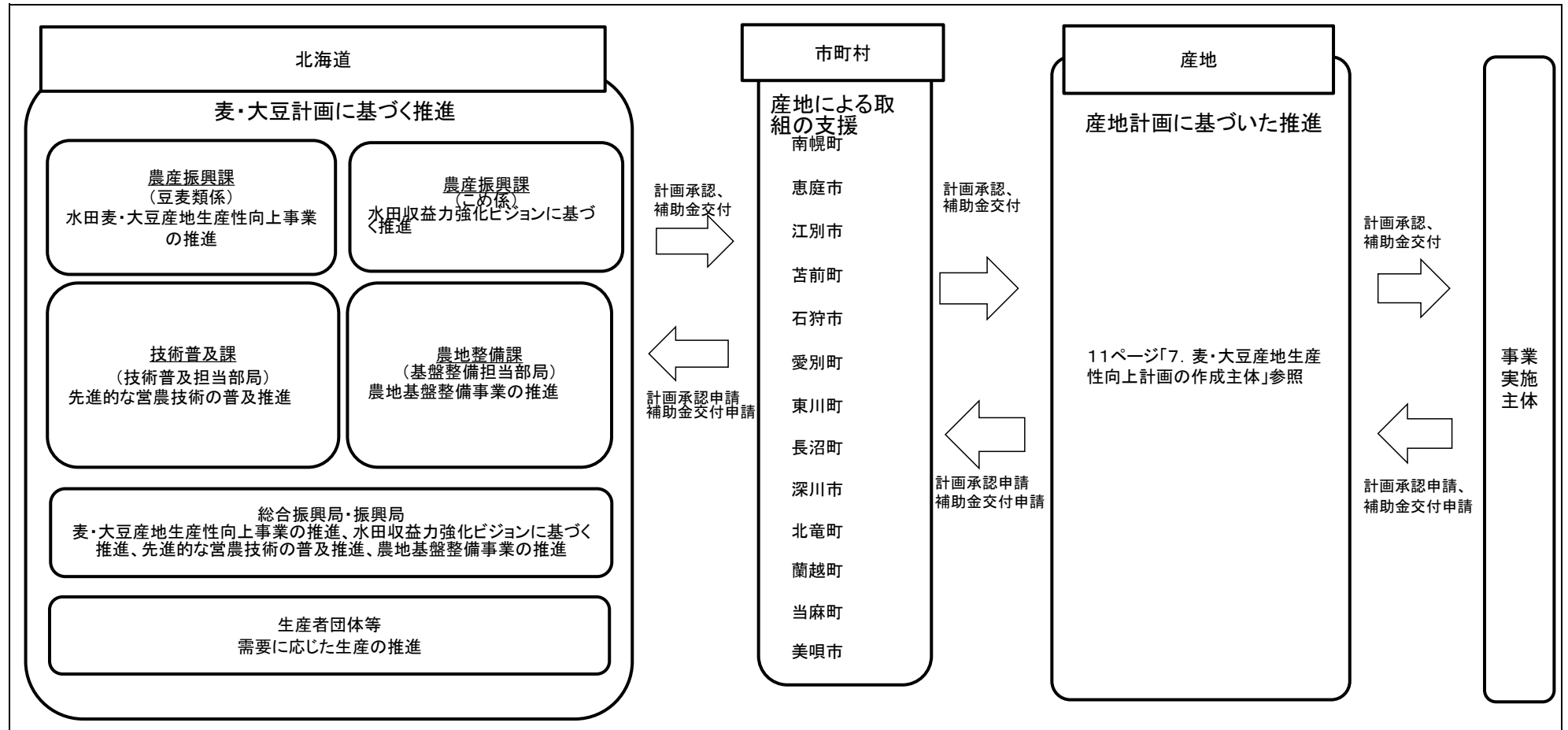
※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

※ 現状値は、計画策定年の前年実績(令和2年策定の場合は、麦は令和2年産、大豆は令和元年産)とする。

※ 当該年産が災害等を理由に異常値である場合は7中5とすることが出来る。その場合備考欄に明記すること。

※ 作付面積、生産量以外の目標を設ける場合は適宜行を追加して記載すること。

4. 推進体制及び役割



5. 他計画・プラン等との連携

	連携する計画・プラン等名称	作成年	備考
1	水田収益力強化ビジョン	令和4年	
2	第6期北海道農業・農村振興推進計画	令和3年	
3	人・農地プラン	令和4年	
具体的連携内容 本計画の実施に当たっては、第6期北海道農業・農村振興推進計画及び水田収益力強化ビジョンとの整合を図る。 特に、団地化の推進にあたっては、各産地の区域を含む人・農地プランとの連携を図り、集積された農地が効果的に活用されるよう団地化を推進する。 具体的には、麦・大豆の増産に取り組む地域は、人・農地プランの見直し時に麦・大豆の増産に係る内容を盛り込み、作物の団地化も考慮してプランを作成することとする。			

6. 活用予定の事業

関連	事業名	備考
○	水田麦・大豆産地生産性向上事業	○活用する時期：令和3年度、令和4年度 ○取組内容：水田麦・大豆の団地化の推進、営農技術の導入及び機械・施設の導入の取組を支援する。
○	麦・大豆保管施設整備事業	○活用する時期：令和3年度、令和4年度 ○取組内容：小麦・大豆の豊凶変動に対応した安定供給体制強化のための保管施設を整備する。
○	国営緊急農地再編整備事業	○活用する時期：平成28年～令和14年 ○取組内容：広域的な農地の大区画化や排水改良を行い、担い手への農地の集積や集約を促進する。

※県段階で想定している事業名について、記載願います。

※麦大豆プロジェクトの関連事業の場合は、「○」を入力してください。その他の事業を活用する場合は「-」

※備考欄には、活用する時期や具体的な取組内容を記載すること。

7. 麦・大豆産地生産性向上計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	活用予定の事業
1	南幌町地域農業再生協議会	南幌町	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
2	恵庭市下島松宮農集団	恵庭市	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
3	恵庭市中島松宮農集団	恵庭市	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
4	江別市株式会社輝楽里	江別市	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
5	苫前町地域農業再生協議会	苫前町	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
6	石狩市農業再生協議会	石狩市	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
7	愛別町農業再生協議会	愛別町	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
8	東川町地域農業推進協議会	東川町	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
9	漁太宮農集団	恵庭市	令和2年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
10	深川市地域農業再生協議会	深川市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
11	南幌町地域農業再生協議会	南幌町	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
12	長沼町地域農業再生協議会	長沼町	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
13	北竜町農業再生協議会	北竜町	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業

14	当麻町地域農業再生協議会	当麻町	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
15	豊幌営農集団	江別市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
16	株式会社巴農場	江別市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
17	石狩市農業再生協議会	石狩市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
18	恵庭市中島松営農集団	恵庭市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
19	恵庭市中島松北営農集団	恵庭市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
20	有限会社長谷川農場	恵庭市	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
21	蘭越町農業再生協議会	蘭越町	令和3年度補正水田麦・大豆産地生産性向上事業
22	一心米麦営農組合	美唄市	令和4年度当初水田麦・大豆産地生産性向上事業